

第三次世界大戦:

カナダの解体
完了



併合前の秘密金融攻撃、準軍事攻撃:

米国が画策した世界金融崩壊、外国人の悪魔化

シドニー・クライン

WW111:

カナダの解体完了

併合前の秘密の金融・準軍事的攻撃:

米国主導の世界金融崩壊、外国人誹謗

シドニー・クライン

「地球の敵はロシアではなく米国である。したがって、ロシアは中傷に対して核による報復を行う可能性すらある...

「あるいは...こうした誹謗中傷は、米国の北極圏占領を正当化するために仕組まれた可能性もある。これら全ては、**準ビジネスパートナーと偽りの敵**（米国、ロシア）との共謀を意味する...

「9.11同様、米国の企ては**演出された虚構の脅威**を伴い、そこから利益を得るだろう...」

「...**ハワイに関しては**、米国は日本と英国に対する自衛の必要性を主張していた。一方は公然と関心を示さず、もう一方は既に撤退して帰国していた。**米国の帝国主義の方程式は決して変わっていない**。犠牲者のリストを見よ——今日に至るまで。」

「...**大陸の資源は米国を自給自足させる**。これにより米国はメキシコとカナダを含む大陸規模の防衛圏を構築し、**債務不履行を可能にする**。債務免除を保証する見返りに両国を『購入』するという米国の約束は、最終的に、そして最も痛ましい形で、**例外なく全世界の犠牲の上に成り立つ**だろう。」

「本書で提示された文書及びその他の圧倒的証拠によれば、中南米は米国の侵略という重大な危険に晒されている」

「...米国が自国債券の債務不履行によって**他国の経済を破壊する能力**」

「...**預金者による銀行再建負担（ペイルイン）**の舞台が整えられている...」

「前述の10の事例は網羅的ではないものの、計画立案者たちが次の大帝国主義的冒険が始まるまでに（9.11以降）丸一世代が経過することをいかに認識していたかを如実に示している」

「銃口を突きつけられ、カナダは主要な水資源と鉱物資源の大半を含む北部を割譲することで、自らの生存を『交渉』するだろう。」

「**アジア**（中国と日本）は、本書で論じた通り、金融戦争手段とその他の手段を組み合わせた米国の攻撃を受け、物理的な戦争が勃発する可能性がある」
勃発する可能性がある。」

「...中国叩きと政府広告は、すべて米国の債務不履行と後の第三次世界大戦への布石だ。あるテレビ広告は『**米国国境内の敵**』と称し、**散歩する中国人の映像を流した**。この試金石的な広告は、確か一週間しか流されなかった。」

「それに、不安定化はビジネスに有利だ」

「重罪を犯した者は、社会契約を破ったとして投獄され、投票権を失う。単純に、市民としての権利を失うのだ。その者は市民として扱われない。」

米国の犯罪リストは膨大すぎて、明らかな結論を導かざるを得ない：

米国こそがこの惑星のテロリストであり、人類史上この惑星の人々に対する最大の脅威である。

」 「...『正当な』武力行使という名目のもと、米国が地球にもたらす脅威は、ローマ帝国やナチス・ドイツの危険性を凌駕している。もし犯罪者が『真の市民』ではないのなら、人権を超えた特権の観点から言えば...米
国が『真の国』ではないことは間違いない」
国」ではないと断言できる。

「残念ながら、犯罪者は刑務所に収監されているが、厄介者である米国は重武装し、野放しにされている」

「これらの文書が記す23年の歴史は、地球上で最も地政学的に重要かつ資源豊富な国であるカナダに対する秘密戦争で用いられた数々の手段を詳述している。

「この国は滅びるかもしれないが、本書は少なくとも、9.11以降のように、明日の歴史修正主義者たちが成功しないようにすることを目指している。」

「カナダの主権通貨であるカナダドル（CAD）を米国通貨（USD）との統合に譲る合意が迫っている。主権の他の二つの柱、すなわち主権的な国境と軍隊の放棄は当然の流れとなるだろう。」

「これと深く関連して、ブライアン・マルルーニーこそが、**アジア太平洋会議でアジア諸国の指導者たちが彼の最初の任期中にカナダに強く助言した内容に反し、貿易拡大をアジアから米国へと転換させ、我々の貿易の大部分を米国との取引に依存させた張本人である。**マルルーニーには、ピエール・エリオット・トルドー首相が定めた方針に戻るよう公然と助言されていたのだ。」

現実政治を考慮すると、カナダはかつての主権通貨の支配権を米国に委ねるのではなく、取り戻すことができるのか？この国はかつての主権経済を再建できるのか？

「**答えはノーだ**：米国は露骨な通貨戦争を仕掛け、カナダドルの崩壊を招くだろう。最も手っ取り早い手段は、カナダ経済を荒廃させるか、**突然都合が良くなったとして通貨の金本位制を強制することだ。**米国の架空の債務規模にかかわらず、同国は他国を圧倒する金保有量を誇る一方、カナダは世界で唯一、金を全く保有していない。」

「**決して忘れるな、水は新たな通貨と見なされるべきだ。**」

人々の必要性への思いやりは、コカ・コーラが自らの経済的利益のために我々の最重要資源を渴望する姿勢を容認することとは異なる。コカ・コーラの会長は、入手困難なカナダの水資源へのアクセスを確保する必要性を公言している。

カナダ国民は隣国に豊富な水供給を拒むような民族ではない。しかし自由市場価格の否定は容認できない。合衆国は連邦成立以来、カナダに自国の資源を売り続けてきた。カナダの主権を守るためには、今こそこれを止めねばならない。

腐敗した政治家との取引は、もはや特権で報われるべきではない。**むしろ腐敗した者たちは、改ざんによって生じた損害に対するカナダの賠償請求を受ける権利がある。**後者は戦争行為であり、報われるべきではない」
報われるべきではない。」

「国防総省顧問ジョン・バークは『敵は大量破壊兵器で我々を攻撃する』と主張し、本章で述べた手法による**通貨操作**を『**金融上の真珠湾攻撃**』と呼んだ。明らかに米国の手法とは、自ら行っている行為で他者を非難し注目を集めることである...」

「**国際債務のデフォルト前に、創出された通貨は当初、国際的な買収と国内の債務免除によって利益を得ている。**

具体的には、米国は外国資産（例：カナダ）を取得し、住宅ローン、学生ローン、国税庁への債務、あらゆる種類の企業・小売破産問題を帳消しにすることで、より健全な国内バランスシートを達成する見本を示すことになる。**この「富」の代償は、米ドルを国際通貨として受け入れた全世界が支払うことになる。**

「感謝する米国市民は、中国を悪者扱いする政府の行動を含め、再び全面的に支持するだろう。」

「大陸化により**米国市民が必要とする資源が全て**供給されるため、『大償却』と称されるであろうこの措置は、**世界史上最大かつ最も周到に計画された強奪事件として歴史に刻まれるだろう**」

「カナダドルが次に重大な危機に陥り、おそらく史上最低値を更新する時、時点で、政府給付に依存する全ての市民は...生存のためなら何でも受け入れるよう追い詰められるだろう。誰も抵抗できる立場にはない」
協力者によるカナダのかつて強力に支えられた主権通貨の放棄」

「法秩序が機能する世界において、米国の電子マネー印刷は**不可抗力を生み出した**。米国が契約条項の解釈を自国裁判所のみ委ねる以上、第三者による判断が存在しない事実自体が、いかに米国が自己都合で合法と断じようと、真の意味で契約を違法とする。それでも米国は自らを裁判官、陪審員、契約執行者とする特権を、自国の軍事力によって授け、承認している。」

「... - CNNは、当時のカナダドル安が米国雇用を守るために維持されねばならないと公然と論評した。

「...一方、欧州中央銀行、日本、中国、スイス、そして当然ながら米国は、債務貨幣化プログラムを強化している。」

「...しかし注目すべきは、米国の支配圏から離脱し、中国の主導する新たな**国際決済手段の構築**に参加する主体だ。**戦争が勃発した際、軍事衝突に先立って歴史的な通貨変動が既に始まっているかを見極めよ。**

「したがって警告しておくが、比較的近い将来に起こる出来事は突発的で衝撃的に見えるだろう——しかし実行者たちは衝撃と畏怖の効果に飛びつくべく、非常に長い間計画と準備を重ねてきたのだ。9.11が

いわゆる愛国者法を導いたように、**米国は次に起こす巨大（かつ史上最大の）帝国主義的進出を、作り出されたパニックの渦中で実行するだろう。」**

「カナダ国民よ、よく注意せよ：欧州中央銀行総裁としてマリオ・ドラギは、金を売却した中央銀行は歴史的に『後悔している』と指摘し、その趣旨の発言を行った。この警告に、大物銀行家の言葉など必要ないはずだ。」

「事実上の植民地化が既に進行している現状において、通貨を通じて併合が進行中であることをカナダ人に認識させるには、他に何が必要だろうか？」

「ゴールドコアは2014年2月12日、住宅価格下落が銀行に与える影響について報告した：

国際通貨・金融当局（イングランド銀行を含む）は、*ベイルイン（自己負担による債務処理）*に向けた準備を進めてきた。一般市民の大半は、こうした動きやリスク、その影響について認識していない。

「スティーブン・ハーパーはベイルイン措置を導入し、取るに足らないものとして軽視した。一方、野党は傍観していた。大多数のカナダ国民は、自国の主権という土壌に根を下ろした毒の種に気づいていない。」

「...米国市民の民間債務を公的部門に移転し、それによって軍隊の財政的戦略的保護を得るという意図的な戦略である...すなわち、カナダ国民は生き残るために通貨統合を受け入れる以外に選択肢がなく、通貨が統一されることで、文字通り致命的な選択を迫られる形で、我々の主権も圧迫されることになる。」

「...そして米国企業の債務**が政府の**ソブリン債務**よりも**高い格付け**を受ける可能性さえあることを考慮すると...」**

「聞く耳を持ち解釈する意思のある者に対して、米国の投資家たちはこう言い続けてきた...：『世界が我々の紙幣と引き換えに商品やサービスを提供し続ける限り、我々は紙幣を印刷し続ける。特に、それを使って貴国の企業を買収し続けられるならなおさらだ』**」**

国家のソブリン債務義務に影響を及ぼすあらゆる契約（あるいはあらゆる契約）の『合法性』は、その主権国家が自国の利益を守るために有する関連する金融政策を含め、

不可抗力の加害者によって裁定されるべきではない。また、当該契約の有効性を裁定する権利を主張すべきでもない。なぜなら、その契約を引き起こしたのは加害者自身だからである...

「...契約のいかなる側面の有効性についても、第三者のみが判断を下すことができる。これは国際協定を統治する法の支配に関して自明であるべきだ。」

「少なくとも米国は、大陸統合とマニフェスト・デスティニー実現の成功後、米州における自国通貨の主要な役割を保証する。米ドルが米州全域で支配的な交換手段となるためには、大陸統合は十分以上の第一歩であったはずだ...

「...執筆者、アナリスト、一般市民が米国支配層が意図的にこうした状況を作り出してきたことを理解していないため、米国とその銀行は制御不能に陥っているという見方が支配的だが、それは全くの誤解である。」

「2001年以降、展開する世界的なドラマを米国支配層が主導し、完全に掌握してきた。今世紀のあらゆる重大事件や地政学的変動と同様に、戦争の支配者たちは過去も現在も完全な支配権を握っている。」

衝撃的な世界的事件は、米国の支配が全く失われていないことを認識しない者にとってのみ衝撃的である。なぜなら、災厄的な出来事は再び事前に綿密に計画されているからだ。衝撃を受けるのは、混沌状態を生み出す全ての必須要素の相互関連性を理解しない者だけである。その混沌状態から、実行者たちは、その後も続く世界の恒久的な変化によって、様々な形で利益を得ることになるのだ。」

実際、2001年以降の期間は、この次の主要な波となる帝国主義革命の基盤を整えることに費やされてきた。帝国主義革命の基盤を整えるための期間であった。

本書は——2003年以降に先行して発表された全ての文書と同様に——ついに公衆に理解する機会を与えるものである。それは、カナダの主権がいかにして米国の秘密テロリズムによって浸食されるかを説明する、意図的な計画についてである。

「端的に言えば、米国は債務を帳消しにし、自国の企業と超富裕層の富を軍事的に守る。このため、米国政府の債務不履行は、国際的に説明責任を負う民主主義国家の場合のような貧困化を意味しない。

したがって米国は、富を民間部門の帳簿上に留めたまま、債務の大半あるいは全てを解消する。民間部門——企業と超富裕層——は

完全にリセットされる。米国は大陸化によってあらゆるニーズを満たすからだ。**これは必ず起こる！」**

「**考えてみよ**：AAA格付けの国がなぜペイルイン条項を必要とするのか？

「**圧縮された時間の中で、米国流の『衝撃と畏怖』は、大きな混乱と動乱の時期に訪れるだろう。米国は通常、恒久的な変化をもたらすために、このようなシナリオを計画し、そこから利益を得るのだ。」**

「大手銀行を救済するためのペイルイン実施能力について、2013年12月11日付ゴールドコアの記事で、**イングランド銀行のタッカー氏は『米国当局は今日でも実行可能だ——文字通り今日だ』**と発言したと報じられた。

「**2024年1月の記事によると、ピエール・ポワリエヴル氏はカナダ国民への緊急訴えの中で、国連におけるカナダの議席及び関連機関との一切の関係を放棄する**請願を提出した。これには世界保健機関（WHO）も含まれる。その文言は明確であった：

「我ら署名者、カナダ市民及び居住者は、議会下院に対し、国連及びWHOを含むその全下部組織からのカナダの迅速な脱退を緊急に実施するよう要請する」

「ポリエーヴル氏の選挙勝利は、このような極端な極右の狂気がカナダを単に傷つけるだけでなく、終わらせるだろう...これは主権国家としてのカナダを終わらせる反国際主義のイデオロギーを反映している。カナダのネオコン主義は、一般市民の理解を超えるほど過激化している」

「**これらは全て米国公衆への無料サービスであり、米国が債務を免除された後、世界が代償を支払うことになる。**米国は軍拡のために紙幣を印刷し、それが虚構の通貨を支えている」

「選挙を目前に控え、繰り返す価値がある。**ポリエーヴルはハーパー政権下で仕えたことを誇りに思っている。**ハーパーは嘲笑と傲慢を込めて、狩猟者の権利を守りたいと主張していたのだ...」

「**狩猟者という比較的小さな集団の権利が、銃の違法化を求める大多数の国民の権利に優先する（カナダの世論調査が示しているように）？」**

「ポリエーヴルの師匠は銃と銃登録制度に対して公然と反抗的だった。なぜなら、正直なところ、ハーパーは自分が銃器、死刑、中絶、フランス系カナダ人、先住民カナダ人、同性愛者、その他あらゆるものについて抱く考えや感情を皆が知ろうが知るまいが全く気にしなかったからだ。それは彼が米国の政治的傀儡として卑劣で劣っ

た存在であることを反映していた。」

銃器、死刑、中絶、フランス系カナダ人、先住民、同性愛者、その他あらゆる事柄に対する自身の考えや感情が公に知られることを全く気にしていなかったからだ。それは彼が卑劣で劣った米国の政治的傀儡としての役割を反映していたのである。」

「全てのカナダ人へ：覚えておけ、米国が一度介入すれば、決して去らない」

「プロパガンダのための通信統制はあらゆるファシスト国家にとって不可欠であり、CBCの民営化は次の論理的段階となる...ポリエーヴルは公然とこの仕事を完遂すると宣言している。帝国主義とナショナリズムが本質的に依存する通信・プロパガンダ統制の一環として、米国のネットワークがカナダのネットワークに取って代わるだろう。」

「今後の主要な動きとして、CTVがABCやCBSに置き換えられ、おそらくグローバルTVの地位を引き継ぐ可能性がある（これらはCBCの民営化とは別個の問題だ）。...ROBtvはBNNとなった...ポワリエヴルが勝利すれば、人為的な市場崩壊によってこれらの資産が安価に取得可能になった後、すべてが急速に実現するかもしれない。」

「いかなる改革も、いかに抜本的で単純化されていようとも、『合理的』な事業として位置付けられれば即座に実現可能となる。つまり、現状を改善しつつ...必要に応じて、必要な時に、さらに洗練させる意思を前提とした改革である。」

「上記の単純な論理は、恐怖や政治的臆病、外国の利益のために改革を遅らせようとする者たち、あるいは旧態依然としたイデオロギー的停滞（選挙制度改革など）によって阻まれてきた。」

「米軍のカナダ領土使用を認める協定を破棄せよ。ハーバーが署名したこの合意は、重大な逆行行為である。」

国際：国連加盟は、ハーグの民事裁判所と刑事裁判所の双方の承認と義務的に結びつけられなければならない。あらゆる国際的または超国家的合意及び契約上の紛争は、ハーグで裁決されなければならない。いかなる種類の合意の当事者も、自国の裁判所が契約または合意を裁決することを拒否してはならない。刑事裁判所の包含は、米国の戦争犯罪者が裁かれることを保証する。

自国の裁判所による契約・合意の裁定を認めないことは許されない。刑事裁判所の包含により、米国の戦争犯罪者も他者と同様に裁かれることが保証される。」

「立法がなければ、企業は食品に中毒性添加物を混入し続けるだろう...政治家が立法で実現可能な疾病予防の道

筋を無視して。大手製薬会社が様々な調合薬で対応する肥満を招く物質を、子供たちがもっと欲しくなるようにクッキーに混ぜ込むことを想像してみよ。

「我々の健康を守るのは米国企業ではない。国民のみがそれを果たせる...利益より健康利益を優先する存在だ。カナダ人は米国化学・製薬産業が癌性食品や医薬品で我々を病ませることを許すべきではない。」

「**少数与党政権の可能性**がなければ、彼らは知らず知らずのうちに米国政治インフラという凶暴な獣を支えている。少数与党政権を可能とする政治体制を構築する運動こそが、挫折による怒りをようやく断ち切り、**暴力に平和的かつ決定的な打撃**を与えるだろう。」

本書は、米国の拡張主義プログラムを継続するための手法が、1776年の建国当初に根ざす同国の**冒険主義と帝国主義**の各段階において、極めて類似した戦略を用いていることを説明してきた。

「本書で取り上げられた事例の一つとして、ハワイ併合が挙げられる。これは米国議会の承認を得ず、事後にもハワイ住民の同意を得ていない。**したがって、帝国主義者たちは今もなおそこに居座っているのだ。**」

「この文書は...米国が違法に署名された文書を用いて同様の併合を正当化してきた手法、あるいはハワイの場合のように、**存在しない敵からの保護が必要だ**というでっち上げの主張を広めてきた手法を示している。

」

「...具体例として、軍事戦略を偽装した夜間外出禁止令の発令や、強制的債務引き受け条項（バイルイン条項）が挙げられる。国民の**権利と財産**を侵害するあらゆるものは、今すぐ撤廃されねばならない。

今こそ、**恐怖と街頭暴力を根絶するには、国民があらゆる面で政治的保護を実感できねばならない。**

「政治指導者らの努力を認識すれば...世界は平穏を取り戻す。さもなければ街頭で不満を爆発させる人々も。

これは

心理的事実である。」

「カナダの歴史は、こうした価値観を反映した行動によって美化されてきた。これこそがカナダ人であることの誇りとなってきた**所以**である。歴史は再びカナダを呼びかけているが、**今回はカナダが世界に贈る贈り物は、その自衛の延長線上にあるものだ。**」

「財政、経済、政治、拡張主義的軍国主義のあらゆる側面において、米国の犯罪的な目的を促進するための舞台は整えられている...世界において。

「君は今読んでいる内容を理解しているか？我々は応戦する覚悟と意志があるのか？それともカナダは本当に...ひっそりと消え去ってしまうのか？」

「カナダよ、我々は今まさに死にかけている。

「本書で提示された文書及び圧倒的証拠によれば、**中南米**は米国の侵略による重大な危機に瀕している。

「米国が軍事的反応を誘発するにつれ、**ヨーロッパ**は混乱に陥るだろう。それにより、米国は敵対国への非難を容易にし、引き起こすことになる。

あるいは、付録で述べたように、こうした中傷工作は**米国による北極圏占領を正当化するために仕組まれた可能性**もある。これら全てが、**準ビジネスパートナーと偽りの敵対国**（米国、ロシア）との**共謀関係を示している**。

「共謀を仮定すれば...**ロシアが関与する欧州でのいかなる戦争も、米国がカナダとグリーンランドに恒久的な拠点を設置する口実**となる。さらに、英連邦がカナダに対する条約上の義務を果たす能力は損なわれるだろう。

「上記の計画は米国ギャングにとって最も効率的な戦略であり、したがって最も起こりうる企てとなる。

「**アジア**（中国と日本）は、本書で論じた通り、金融戦争手段と他の手段を組み合わせた米国の攻撃を受け、物理的な戦争が勃発する可能性がある。

カナダの主権を支える三本柱がリアルタイムで崩れつつある：**通貨、軍事、国境**。カナダが生き残る唯一の道は、ドミノ倒しの流れを逆転させ、各分野で生じた悪魔的な影響を解消することだ。

「国民は、あらゆる形態の**米国の越境行為**について絶対的な透明性を示す形で権力を行使する大胆な指導者を必要としている。さもなければカナダは終わりだ。以上。

「したがって政治家たちは、自国を守るために勇気をもって応じる国民を信頼すべきだ。現実的に言えば、私はこの文章を何よりも後世のために書いているのかもしれない。それともこの国は突然、恐れを知らない指導者に恵まれるのだろうか？ いったい誰が？」

「いずれにせよ、**1867年後の連邦成立後の時代は終わった。**

「カナダの第二章においては...大衆主義的な決意が不可欠となるだろう...米国が引き起こした誇張された国民的分裂——米国の傀儡たちを通じて——が我々をこの状況に陥らせた後、カナダの運命にふさわしいものとなるだろう。それまでカナダの生活様式に存在しなかった性質である怒りと内紛を生み出し、煽り立てたのである。」

「カナダの明白かつ顕著な英雄的行為は、再び、世界中で数千万の命を救うために不可欠である。ヨーロッパやその他の地域でこれほど多くのカナダ人の血を流した後では、そのような行為ははるかに優れた...カナダの歴史における模範的な両端を創り出すことになる。民主主義と国際的主権に献身する最も素晴らしい人々の社会の記録を、世界の歴史に刻むのである。」

「この世界がカナダの復活を必要とするのは、カナダがカナダを必要とするのと同じくらい切実なことだ。」



"民間セクター - 企業と超富裕層 - はリセットされる...米国が大陸化を通じてすべてのニーズを満たすため。これは起こる!"

"...中国人、ロシア人の悪魔化、そして大陸化の結論と一致する。"

"すべての債務を帳消しにし、米国の富と領土を拡大すること - デフォルトに向かう債券によって資金提供される軍事力に支えられた - はこの本の中心である。"

"...米国は公的債務をキャンセルする...デフォルトは、国際的に説明責任のある民主主義のように、国家の支払不能を示唆するものではない。"

"...ピエール・ポワリエールは、カナダの国連における議席を放棄し、その関連機関とのすべての関係を断つ請願を進めた。"

"...ロシアが関与するヨーロッパでの戦争は、米国がカナダとグリーンランドに恒久的な拠点を設置する口実を生み出す。また、英連邦がカナダに対する条約義務を果たす能力は損なわれる。"

"ロシアのニーズは：北極、共同投資、自衛の確保。カナダのニーズは：主権の維持、外貨と金準備の再構築、高収益の共同投資。方法は以下の通り："